

ほけんだより 8がつごう

びょうきのおしらせ (7がつ25にちまで)

かんせんせいいちょうえん 1名

RSウイルス 1名

ねつやせき、おうと、げりなどのしょうじょうのびょうきがはりました。

かんせんしょうについて

7がつは、「かんせんせいいちょうえん」や「RSウイルス」などのしんだんをうけたおこさんがいらっしゃり、ふゆのきせつにおおいびょうきなので、わたしはおどろきました。

ないかけんしんにきてくださっている まつたにせんせい(まつたにこどもクリニック)にきくと、さいきんでは、へやのなかのかんきょうがよくなってきたため、かんせんしょうのきせつせいがなくなってきつつあるとのことでした。じっさいに、インフルエンザがはやくからはやりはじめて、よぼうせっしゅがまにあわないことがあったことをおもいだしました。

エアコンなどで、1ねんをとおしていっていとなった室内環境によって、夏場に活動的に慣れなかったウイルスも今では活動的に潜伏して免疫が落ちた身体に進入して感染症を引き起こしているものと思われます。感染症に罹らないように「手洗い・うがい」などの予防を行い気をつけましょう。



水遊びやプールについて

今月プール開きを7月1日(金)に行い、水遊びやプールが本格的に始まりました！子どもたちは楽しそうに水遊びやプールを楽しんでいます。その様子は、今月号の園だよりでも紹介させていただいていますので、あわせてご覧ください。

毎日のプール準備ありがとうございます。今後も入水チェックよろしく願いいたします。

夏のこの時期にプールを行うのは、子どもたちが全身を使って遊び、普段では感じられない浮力を感じたり、水に慣れ親しんだりするために行っています。

また、現在では、夏の気温が上昇しすぎてプールか水遊びで身体を冷やしていないと、体温調節が未発達の子もたちは、熱中症などに罹りやすくなってしまいうた

め、その予防のためにも水遊びやプールを保育園では行っています。

ただ、夏のプールでは残念ながら、どこかで毎年水の事故が起きてしまっています。今年もすでに起こってしまったようで、私たちも気を引き締めながら保育を行っていかなくてはと思っています。保育園では、さまざまな配慮を行いながら水遊びやプールは行っています。

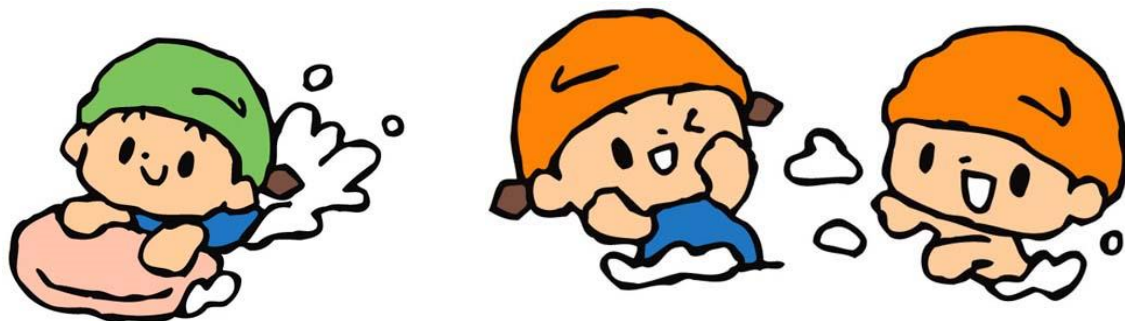
水遊びやプールの配慮

- 気温と水温（最低22℃）を足して50℃になる。
- ピューラックスを入れて、規定の水質になるように検査して入る。
- 年齢や経験に応じて担任が水位の調節をする。
- 保育士が外で見守る、子どもと一緒にプールに入るに分かれ、水の事故が起こらないようにしている。
- 水が嫌いにならないように無理にプールに入れずに水遊びから初め、少しずつ水に慣れていくようにしている。
- 入る前に必ずダンスや体操などで準備体操を行う。



★土曜日には、地域の方に向けて、11:30～14:00の間で屋上プールの開放を行っています。詳細は、保育士にお問い合わせください。地域の方にも開放しており、予約制となっていますので、ご予約はお早めに！

また、園庭開放と一緒に、保育士は付きませんので、保護者の方の見守りの中、入っていただくことが条件となります。



活動と休息

水遊びやプールではとても体力を使います。真夏を乗り切るために、プールを行った後には昼食後、お昼寝をしてゆっくりと休息を取っています。メリハリをつけて楽しく過ごせるようにしていきたい



と思います。